

## 令和6年度 第1回 聴覚障害者センター指定管理者運営委員会協議の概要

1 日 時：令和6年5月26日（日）

開会：13時50分 閉会：14時44分

2 場 所：岡山県聴覚障害者センター研修室

3 出席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 中西 厚美、井下 智貴、東 久示  
中務 雅裕  
岡山県難聴者協会 森 俊己、竹上 敦典、谷口 進

4 会議に出席した者

岡山県聴覚障害者センター 所長 西條 保幸

5 情報保障：岡山県要約筆記団体連絡会2名、センター職員3名

6 報告事項

- (1) 年度別施設等の利用の許可状況
- (2) 令和6年4月月例報告
- (3) 4月までの各種事業の実施状況と実施計画
- (4) 令和6年度運営委員及び事業委員
- (5) 令和6年度手話通訳士養成研修事業
- (6) 令和6年度手話通訳者養成事業
- (7) 令和6年度要約筆記者養成事業

7 協議事項

- (1) 令和5年度岡山県聴覚障害者センター中期目標の評価
- (2) 令和6年度岡山県聴覚障害者センターの行事予定について
- (3) 岡山県聴覚障害者災害対策本部設置運営マニュアルについて

8 その他

- (1) 令和6年度運営委員会の会議日程

9 協議の概要（○は委員の発言、□はセンターの発言）

① 聴覚障害者関係研修事業について

- 6月8日にセンターで開催する研修（岡大片岡先生の講演）と、6月9日に県難協総会で実施する研修は講師（内容）が同じになっている。合同実施して

もよいと思われるので、今後はすりあわせを行ないたい。

- ☐ 参加者の対象が異なる。センターは要約筆記者。県難協は会員など。
- ☐ 県難協の研修は誰でも参加できるので今後は重複しないよう事前に情報交換したい。

② 中期目標の評価について

- ☐ 自立支援拠点活動支援事業の難聴者の参加者数は評価1になっているが、人口の少ない県北地区で実施している点も含めて評価していただきたい（要望）。

③ 養成講座の講義部分の実施について

- ☐ 手話通訳者と要約筆記者の養成講座の講義部分で共通のものがあれば、共同実施を考えても良いのではないかな。経費節減になる。
- ☐ カリキュラムが別なので完全に共通している講義はないと思われる。また事務手続上も共同実施は困難だと思う。
- ☐ 手話と要約ではカリキュラムが異なる。合格率を上げるという観点からも各々で行なう方がよい。
- ☐ お互いに参加（聴講）出来るように、公開講座のような時間があってもよいのではないかな。

④ 手話通訳者等の養成について

- ☐ 合格率が低いのでその分析をしていただきたい。講座修了生の合格率と、講座受講していない者の合格率の比較ができれば良い。また、誰でも受験できるという現在のやり方も良くないと思う。
- ☐ 受験だけではなく、誰でもが講座を受講出来るというやり方も問題だ。受験資格だけではなく受講資格も考えてみてはいかがかな。

⑤ 災害対策本部設置運営マニュアルについて

- ☐ マニュアルの検討はこの運営委員会ではなく、災害対策本部会議に委ねたいが如何かな。
- ☐ 異議なし。

⑥ 今後の運営委員会の日程について

- 第2回 令和6年7月27日（土）13時半～
- 第3回 令和6年9月14日（土）13時半～
- 第4回 令和6年11月16日（土）13時半～
- 第5回 令和7年1月18日（土）13時半～
- 第6回 令和7年3月29日（土）13時半～